

**NEC**

D10-0000033521 1.1 版

QX-S5200G シリーズ Ethernet スイッチ

Web コンソール操作マニュアル

## 改版履歴

版数	日付	改版内容
1.0	2015/02	初版発行
1.1	2016/01/19	<ul style="list-style-type: none"><li>・「本マニュアルについて」の「バージョン」に QX-S5224GT-4X-PW、QX-S5248GT-4X-PW の対象バージョンを追加しました。</li><li>・「本マニュアルについて」の「関連マニュアル」に QX シリーズ Ethernet スイッチ OpenFlow オペレーションマニュアル、QX シリーズ Ethernet スイッチ OpenFlow コマンドマニュアルを追加しました。</li></ul>

## All Rights Reserved

事前に NEC の書面による許可なく、本マニュアルをいかなる形式または方法で複製または配布することを禁止します。

## 商標

本マニュアルに記載されているその他の商標は、各社が保有します。

## 注意

- 本装置は QX-S5200G シリーズ *Ethernet* スイッチ コマンドマニュアルに記載されている機能の操作のみ使用することができます。QX-S5200G シリーズ *Ethernet* スイッチコマンドマニュアルに記載されていない機能の操作に使用した場合の動作については保証しません。
- 本マニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。本マニュアルのすべての記述、情報、および推奨事項は、明示的か暗黙的かにかかわらず、いかなる種類の保証の対象になりません。

# 本マニュアルについて

## バージョン

本マニュアルに対応する製品バージョンは Version 7.1.x です。

QX-S5224GT-4X、QX-S5248GT-4X、QX-S5224GP-4X は Version 7.1.4 を含む以降のバージョンです。

QX-S5224GT-4X-PW、QX-S5248GT-4X-PW は Version 7.1.12 を含む以降のバージョンです。

## 関連マニュアル

次のマニュアルには、QX-S5200G シリーズ Ethernet スイッチに関する詳細な説明があります。

マニュアル	内容
QX-S5200G シリーズ Ethernet スイッチ インスタレーションマニュアル	システムのインストールについて説明しています。
QX-S5200G シリーズ Ethernet スイッチ オペレーションマニュアル	機能の設定について説明しています。
QX-S5200G シリーズ Ethernet スイッチ コマンドマニュアル	機能に関するコマンドについて説明しています。
QX-S5200G シリーズ Ethernet スイッチ Web コンソール操作マニュアル	Web コンソールからの装置設定、状態確認等についての操作を記述しています。
QX シリーズ Ethernet スイッチ OpenFlow オペレーションマニュアル	OpenFlow 機能に関するデータ設定や代表的なアプリケーションについて記述しています。
QX シリーズ Ethernet スイッチ OpenFlow コマンドマニュアル	OpenFlow 機能に関してユーザがさまざまなコマンドを使用するときの参考になります。

## マニュアルの構成

QX-S5200G シリーズ Web コンソール操作方法マニュアルは、主に Web コンソールの機能、操作方法について紹介をしています。本マニュアルは QX-S5200G シリーズの各種マニュアル(インストール、オペレーション、コマンド)の内容を補完します。QX-S5200G シリーズの Web コンソールを初めて操作される際に、本マニュアルがお役に立つと思います。

マニュアル上の画面イメージは装置によって若干異なりますが、操作手順に変わりはありません。

- 1章 Web コンソール機能の概要

Web コンソールの機能概要、特長が記載されています。

- 2章 Web コンソールへの接続

ログイン画面、ログイン名、パスワードの入力方法について記載しています。

- 3章 Dashboard メニュー

ログイン後に表示される画面（Dashboard 画面）について記載しています。

- 4章 設定例

時刻設定、VLAN 設定を例に設定手順について記載しています。

## 表記規則

本マニュアルでは、次の表記規則を使用しています。

### I. コマンドの表記規則

表記規則	説明
<b>太字体</b>	コマンド行のキーワードには <b>太字体</b> を使用します。
<i>イタリック体</i>	コマンドの引数には <i>イタリック体</i> を使用します。
[ ]	大カッコに囲まれた項目(キーワードまたは引数)はオプションです。
{x y ...}	選択する項目は中カッコに入れて、縦線で区切ってあります。1つを選択します。
[x y ...]	オプションの選択項目は大カッコに入れて、縦線で区切ってあります。1つまたは複数を選択します。
{x y ...}*	選択する項目は中カッコに入れて、縦線で区切ってあります。少なくとも1つ、多い場合はすべてを選択できます。
[x y ...]*	オプションの選択項目は大カッコに入れて、縦線で区切ってあります。複数選択することも、何も選択しないこともできます。
#	#で始まる行はコメントです。

### II. GUI の表記規則

表記規則	説明
<>	ボタン名は三角カッコに入っています。たとえば、<OK>ボタンをクリックします。
[ ]	ウィンドウ名、メニュー項目、データ表、およびフィールド名は大カッコに入っています。たとえば、[New User]ウィンドウが表示されます。

表記規則	説明
/	複数レベルのメニューはスラッシュで区切ってあります。たとえば、[File/Create/Folder]。

### III. キーボード操作

書式	説明
<キー>	三角カッコ内の名前のキーを押します。たとえば、<Enter>、<Tab>、<Backspace>、<A>となります。
<キー1 + キー2>	複数のキーを同時に押します。たとえば、<Ctrl+Alt+A>は3つのキーを同時に押すことを表します。
<キー1、キー2>	複数のキーを順番に押します。たとえば、<Alt、A>は2つのキーを順に押すことを表します。

### IV. マウス操作

動作	説明
クリック	左ボタンまたは右ボタンを素早く押します(特に記述がない場合は左ボタン)。
ダブルクリック	左ボタンを素早く2回続けて押します。
ドラッグ	左ボタンを押したまま、別の位置まで移動します。

### V. 記号

表記規則	説明
 警告	表示を無視したり指示に従わない場合、利用者が怪我などをする恐れのある重要な情報を示します。
 注意	表示を無視したり指示に従わない場合、データの損失や破損、ハードウェアやソフトウェアの損傷などが発生する恐れのある重要な情報を示します。
 重要	注意を払う必要がある情報を示します。
 メモ	追加または補足となる情報を示します。
 ポイント	参考となる情報を示します。

### VI. 設定例

本マニュアルの設定例の記述は、各機能の設定例です。インターフェース番号、システム名の表記、display コマンドでの情報表示がご使用の装置と異なることがあります。

本マニュアルは以下に示す 4 個のセクションで構成されています。

01-Web コンソール機能の概要

02-Web コンソールへの接続

03-Dashboard メニュー

04-設定例

## 目次

<b>1 章 Web コンソール機能の概要</b> .....	<b>1-1</b>
1.1 Web コンソールの説明.....	1-1
1.2 Web コンソールの有効化 .....	1-1
1.3 端末動作環境 .....	1-2
1.3.1 オペレーティングシステム .....	1-2
1.3.2 ブラウザ .....	1-3

# 1 章 Web コンソール機能の概要

## 1.1 Webコンソールの説明

Web コンソールはスイッチにローカルユーザと IP アドレスを設定後、CLI を使用せずに Web ブラウザからスイッチの設定をすることができます。VLAN 作成、ポート状態の管理、コンフィグやソフトウェアのアップロードなどを GUI 操作で簡単にできることが特徴です。

---

 **注意：**

- Web コンソール操作時に表示されるメッセージが、CLI 操作時と異なる場合があります。
  - Web コンソールを接続したまま、CLI 等で設定変更を行うと、Web コンソールの操作が正しく行えない場合や、操作上のメッセージが正しく表示されない場合があります。
  - Web コンソールで設定を変更する場合は、現在の装置情報を確認のうえ、操作を行ってください。
- 

## 1.2 Webコンソールの有効化

スイッチに Web コンソール機能が備わっている場合でも、使用する前に Web コンソール機能の有効化と、Web コンソールで設定変更ができる権限を持ったユーザを作成する必要があります。

Web コンソール機能の有効化とユーザの作成は、次の手順で行います。

### I. コンソール接続

コンソールケーブルで PC のシリアルポートとスイッチのコンソールポートを接続し、スイッチにログインします。

### II. IP アドレスの設定

スイッチの管理 VLAN の IP アドレスを設定します。

# system view に移行します。

```
<Switch> system
```

# 管理 VLAN(デフォルト : VLAN 1)の view に移行します。

```
[Switch] interface vlan-interface 1
```

# 管理 VLAN の IP アドレス(192.168.1.1)を設定します。

```
[Switch-Vlan-interface1] ip address 192.168.1.1 255.255.255.0
```

### III. Web コンソールユーザの作成

スイッチにローカルユーザを追加して、設定変更が可能なユーザロールを設定します。

# ローカルユーザ(**web**)を作成します。

```
[Switch] local-user web
```

#サービスタイプ **http** を追加し、ユーザロールを **network-admin** に設定します。

```
[Switch-luser-admin] service-type http
```

```
[Switch-luser-admin] authorization-attribute user-role network-admin
```

# Password を **admin** に設定します。

```
[Switch-luser-admin] password simple admin
```

### IV. HTTP サービスの有効化

Web コンソールに HTTP で接続するために、HTTP サービスを有効にします。

# http サービスを有効にします。

```
[Switch] ip http enable
```

### V. Web コンソール接続

PC 上のブラウザで URL: `http://192.168.1.1` (ステップ 2 で設定した IP アドレス)を入力します。(PC とスイッチはネットワーク経由で到達可能である必要があります)

接続が完了するとログイン画面が表示されます。詳細は本マニュアルの 2 章を参照してください。

---

#### 📖 メモ :

- https で使用するユーザには **service-type https** コマンドを設定します。
  - https を使用する場合は **ip https enable** コマンドで HTTPS サービス有効にします。**ip https enable** コマンドで HTTPS を有効にしていない場合でも、ログイン時は HTTPS で行われます。
- 

## 1.3 端末動作環境

### 1.3.1 オペレーティングシステム

本装置の Web コンソールは以下のオペレーティングシステムをサポートしています。

- Windows 7 以降
- Linux

## 1.3.2 ブラウザ

本装置の Web コンソールは以下のブラウザをサポートしています。

- Microsoft Internet Explorer 8.0 以降
- Mozilla Firefox 3.0 以上
- Google Chrome 2.0.174.0 以上



### 注意：

- 本装置の Web コンソールは、ブラウザの"戻る", "次へ", "更新"等のボタンをサポートしていません。これらのボタンを使用すると、Web ページが表示されない等、異常な状態になる可能性があります。
  - システムが STP(Spanning Tree)のトポロジ計算をしている間は、Web コンソールで装置にログインすることができません。
  - Windows ファイアウォールが TCP 接続数を制限するため、IE を使用して装置にログインする場合、Web コンソールに接続できない場合があります。接続できない場合は、ファイアウォールの設定を確認してください。
  - Web コンソールで装置のソフトウェアバージョンを変更する場合、IE のキャッシュされたデータを削除するため、確認メッセージが表示される場合があります。
-

## 目次

<b>2 章 Web コンソールへの接続</b> .....	<b>2-1</b>
2.1 ログイン .....	2-1
2.2 画面の概要 .....	2-2

## 2章 Web コンソールへの接続

### 2.1 ログイン

WEB コンソールにログインする前に、CLI からローカルユーザなどの設定が必要です。  
装置の設定は 1.2 Web コンソールの有効化を参照ください。



**注意：**

端末の設定(PROXY サーバ, Firewall, セキュリティ)等により、設定を変更しないと Web コンソールに接続できない場合があります。

---

#### I. ブラウザを開いて「http://” 装置 IP アドレス”」を開きます。



Internet Explorer を使用してログインを行う場合は上記のような警告が表示される場合があります。

[コンテンツを表示(S)]ボタンをクリックすることで、正常にログイン画面が表示されます。



**注意：**

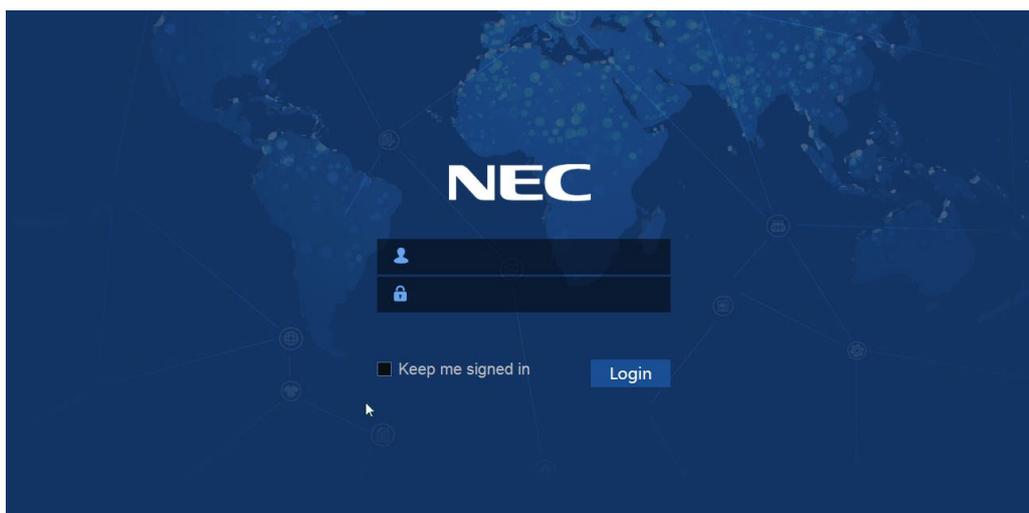
ログイン画面は、https にリダイレクトされますが、スイッチ内で生成した自己証明書を用いているため、証明書のエラーが表示されます。  
強制的に表示をさせるように操作することでログイン画面が表示されます。

---

#### II. ユーザ名とパスワードを入力し、[Login]ボタンをクリックします。

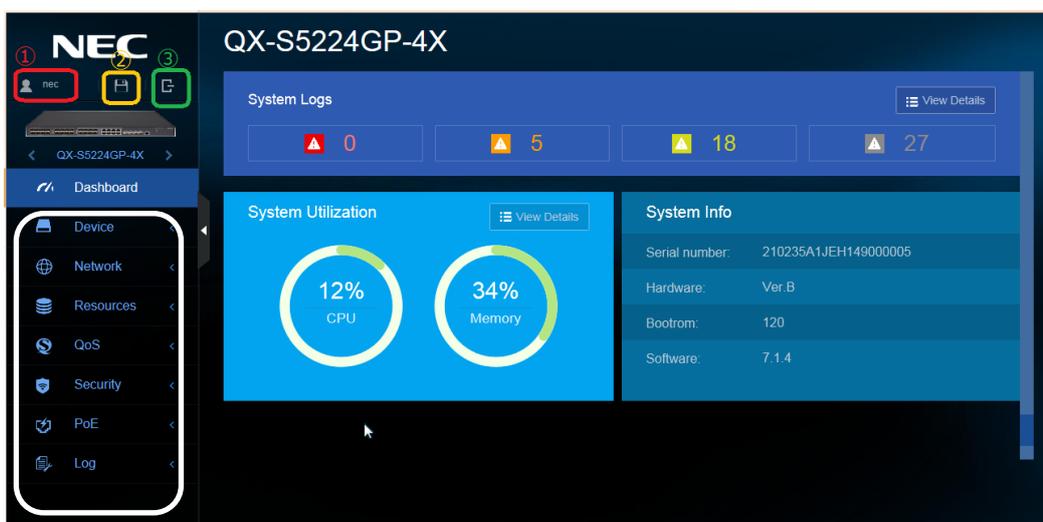
ログインができれば” Dashbord” が表示されます。

ログインに失敗した場合は、ユーザ名とパスワードに加えて Verify Cord の入力が必要になります。枠外に表示される Verify Cord を入力して[Login]ボタンをクリックしてください。



## 2.2 画面の概要

I. ログインが完了すると下記のような画面(Dashbord)が表示されます。



以下に画面左上のアイコンについて記載します。

- ①ユーザ：ログインしているユーザの情報を表示します。
- ②フロッピーディスク：変更した設定を保存(save)します。設定を変更しても自動保存されないため、忘れずに設定保存を行ってください。
- ③ドア：Web コンソールからログアウトします。

II. 装置画像の下に各種設定メニューが表示されます。

白枠内に表示されている機能をクリックして、画面の右側に表示された項目から設定の変更や装置情報の確認ができます。

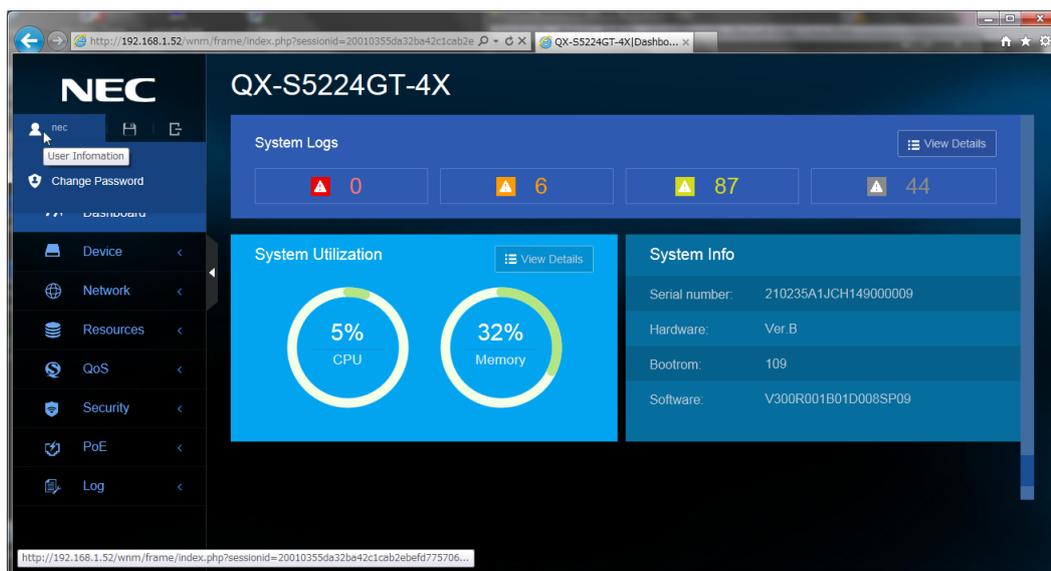
## 目次

<b>3 章 Dashboard メニュー</b> .....	<b>3-1</b>
3.1 画面の概要 .....	3-1
3.2 ユーザパスワード変更 .....	3-1
3.3 System Logs .....	3-3
3.4 System Utilization .....	3-3
3.5 System Info .....	3-4

## 3章 Dashboard メニュー

### 3.1 画面の概要

ログインが完了すると下記のような画面(Dashbord)が表示されます。



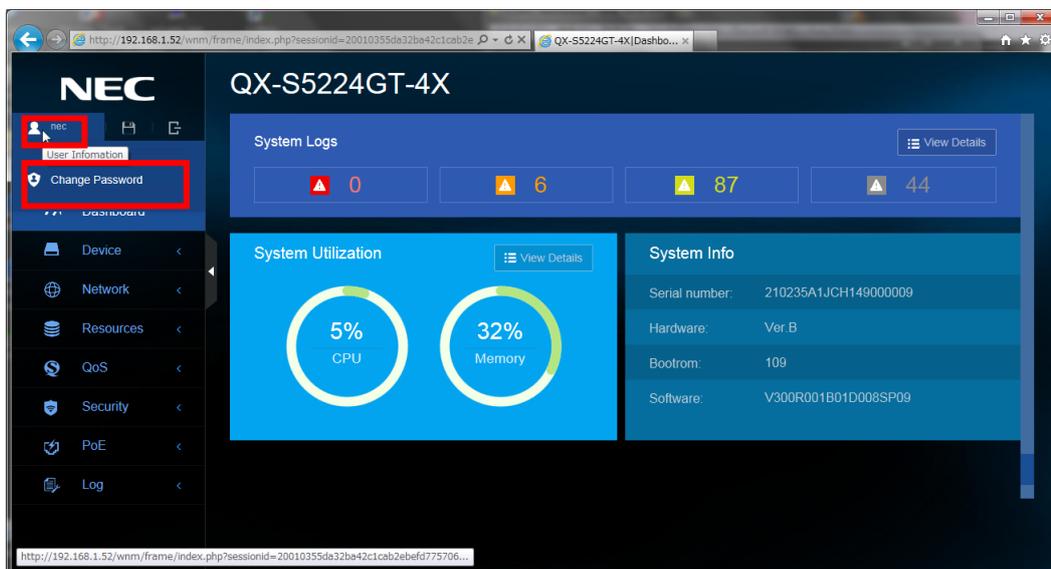
各種機能の設定変更や装置情報の確認を行う場合は、画面左側に表示されているメニューから必要な機能を選択します。

設定変更、情報確認したい機能をクリックすると、右側に詳細画面が表示されます。

### 3.2 ユーザパスワード変更

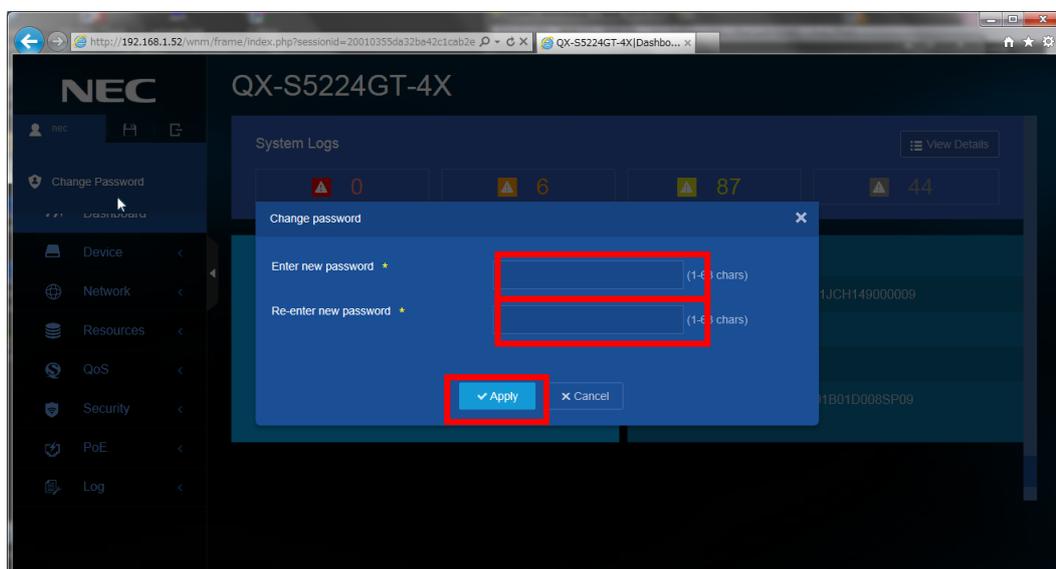
ユーザパスワードの変更は、以下の手順で行います。

I. ユーザアイコンに表示される”change password”をクリックします。



II. ダイアログボックスに新しいパスワードを入力して [Apply] をクリックします。

パスワードの確認のため、2か所に新しいパスワードを入力する必要があります。

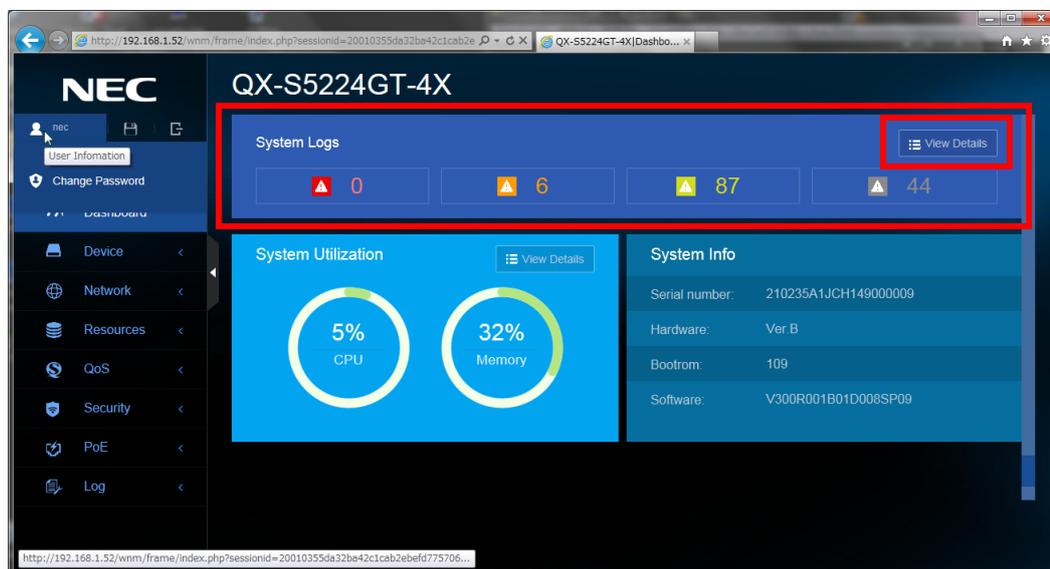


III. フロッピーディスクアイコンをクリックして変更を保存します。

表示される confirm で [Yes] をクリックして保存します。

## 3.3 System Logs

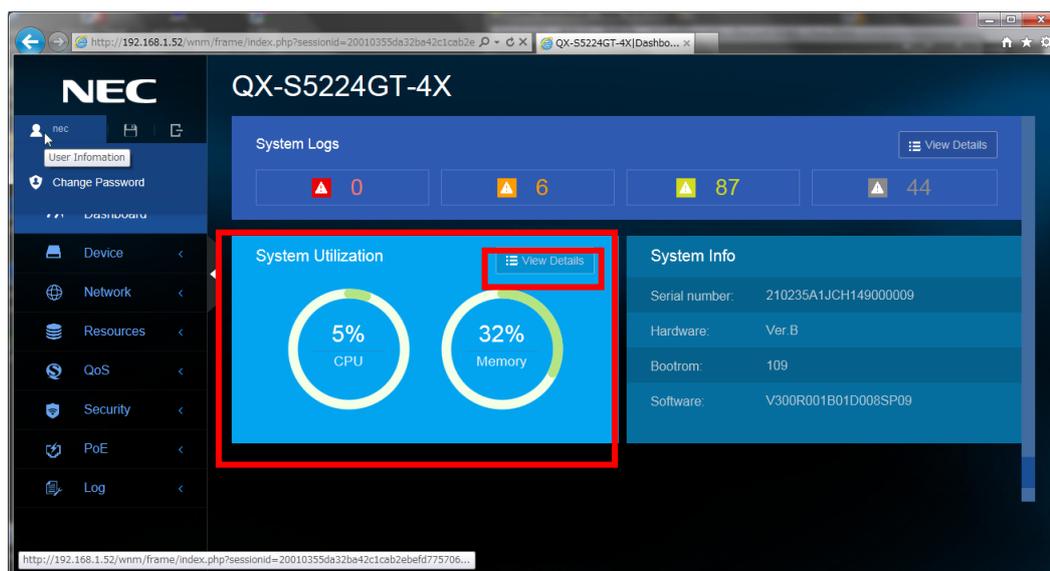
I. System Logs に表示されるアイコンおよび数値は重要度によって分かれています。



[View Details]をクリックすると、装置起動時からのログ情報が表示されます。

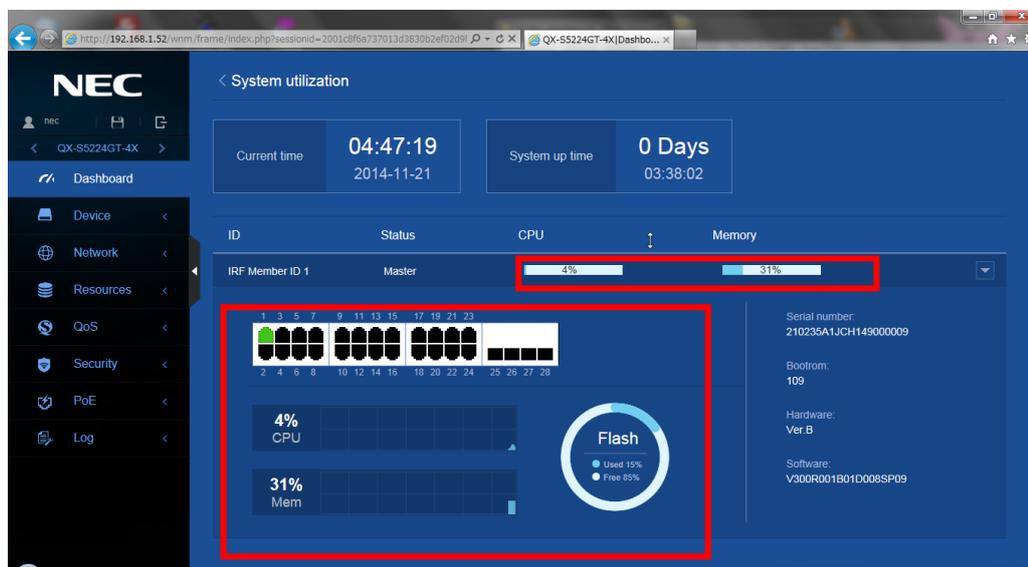
## 3.4 System Utilization

I. 装置のリソース(CPU,メモリ)使用状況が表示されます。



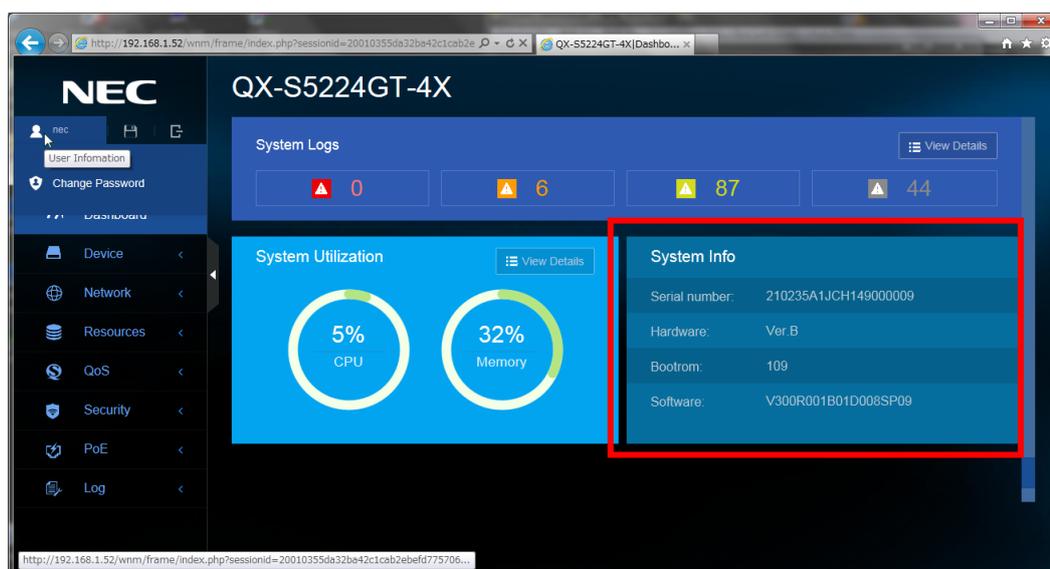
[View Details]をクリックすると、CPU,メモリの使用状況をグラフ化してリアルタイムで表示されます。

## II. Flashメモリの使用状況と装置のインターフェース状態が表示されます。



## 3.5 System Info

### I. 装置のシリアル番号や、稼働中のソフトウェアバージョンの情報が表示されます。



## 目次

<b>4 章 設定例</b> .....	<b>4-1</b>
4.1 時刻設定 .....	4-1
4.2 VLAN 設定 .....	4-4
4.2.1 VLAN の作成 .....	4-4
4.2.2 ポート VLAN の設定 .....	4-5
4.2.3 VLAN インタフェースの作成 .....	4-6

## 4章 設定例

本章では、基本的な機能の設定例を紹介します。



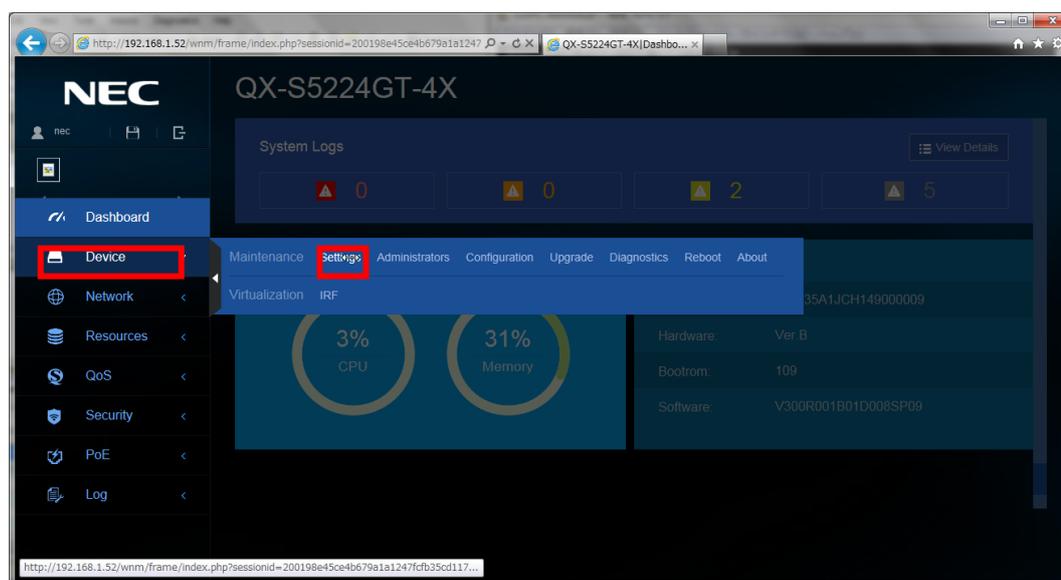
**注意:**

QX-S5200G シリーズの Web コンソールは、コマンドマニュアルに記載してある機能のメニュー操作に対応しています。マニュアルに記載のない機能のメニューを操作したときの動作については保証できません。

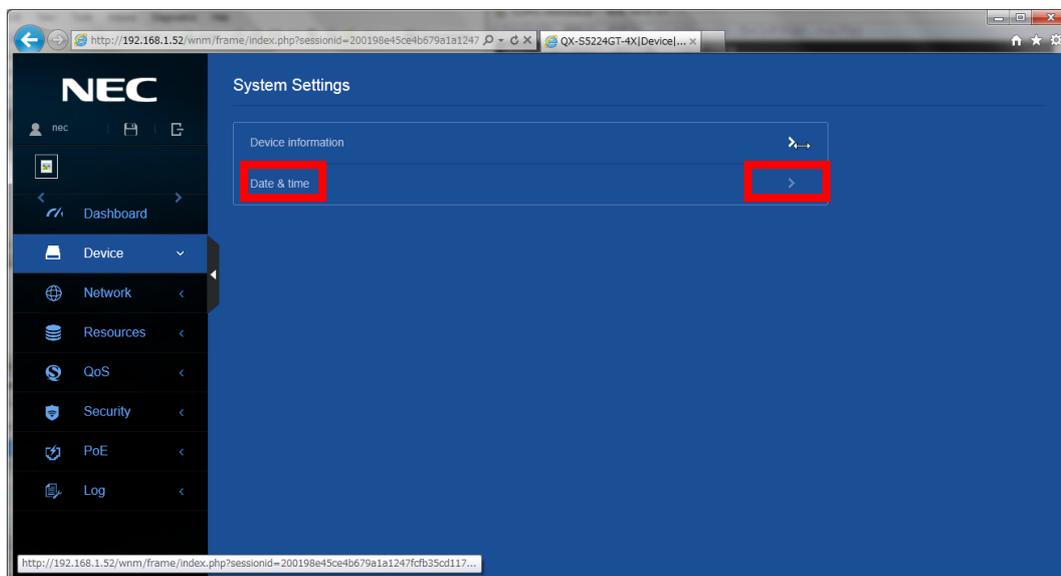
### 4.1 時刻設定

時刻の設定は、以下の手順で行います。

I. Device>Settngs をクリックします。



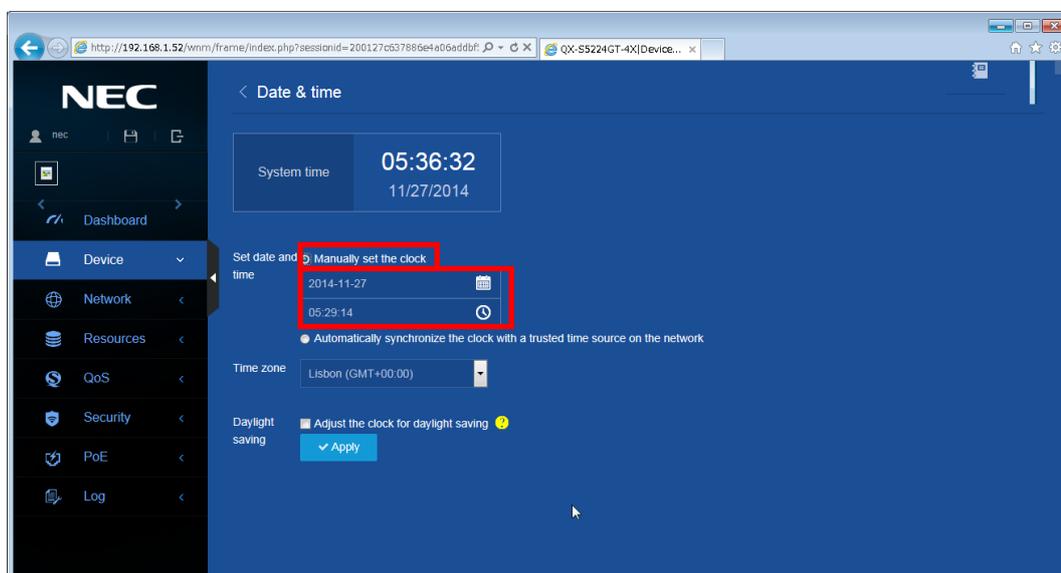
## II. Date & Time の">"部をクリックします。



## III. 手動での時刻設定

NTP で時刻設定する場合は不要です。

- 1) Manually set the clock をクリックします。
- 2) 日付および時刻を設定して[Apply]をクリックします。

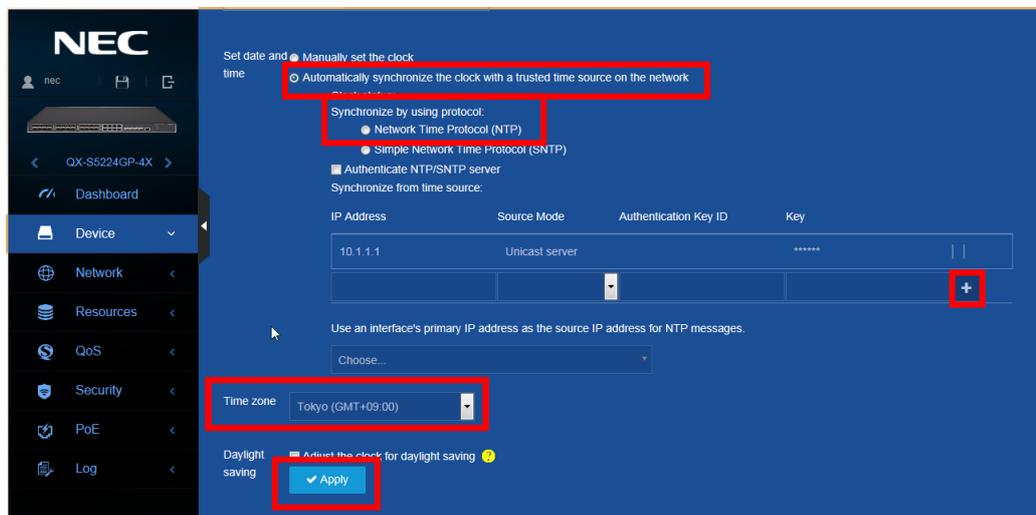


## IV. NTP での時刻設定

手動で時刻設定する場合は不要です。

- 1) Automatically synchronize the clock with a trust time source on the network になっていることを確認します。
- 2) Synchronize by using protocol を NTP にします。

- 3) NTP サーバの情報を入力し、[+]ボタンをクリックします。
- 4) Time zone を設定します。日本で使用する場合は、“Tokyo(GMT+09:00)” を選択します。
- 5) 全ての設定が終わったら[Apply]ボタンをクリックします。



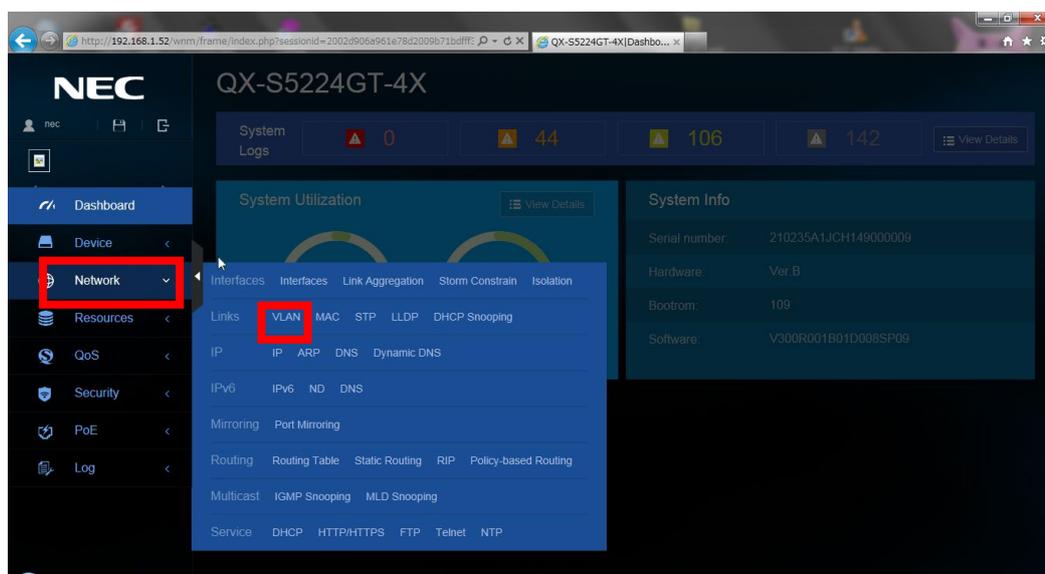
**メモ :**

- NTP サーバで認証が必要な場合は Authenticate NTP/SNTP server にチェックを入れてください。
- QX シリーズは SNTP 機能をサポートしていません。

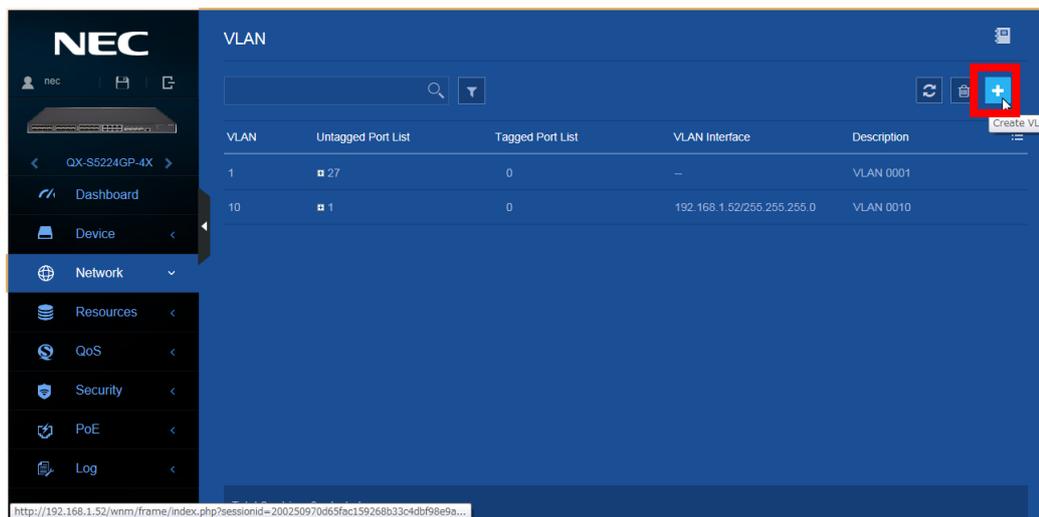
## 4.2 VLAN設定

### 4.2.1 VLAN の作成

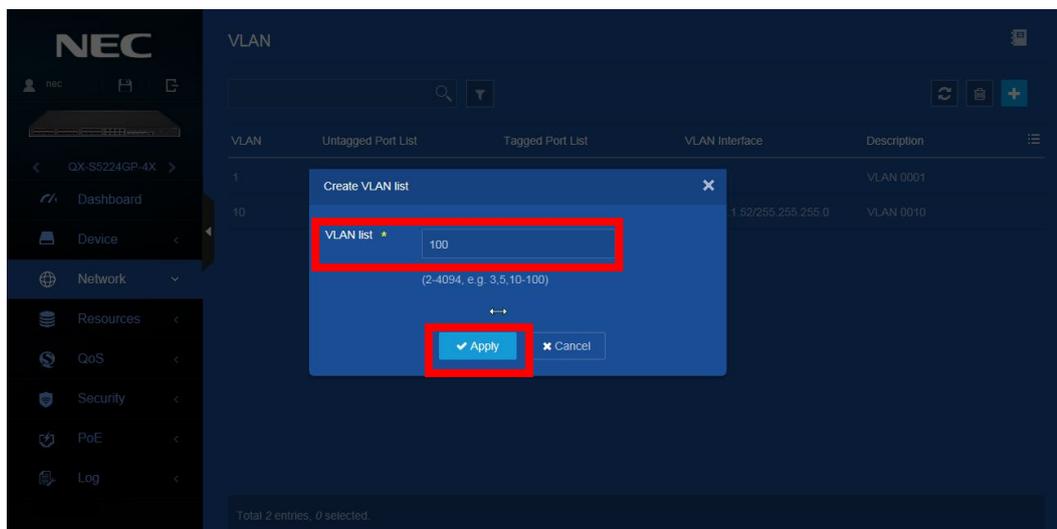
I. Network>Links の VLAN をクリックします。



II. 右上に表示されている”+”部をクリックします。



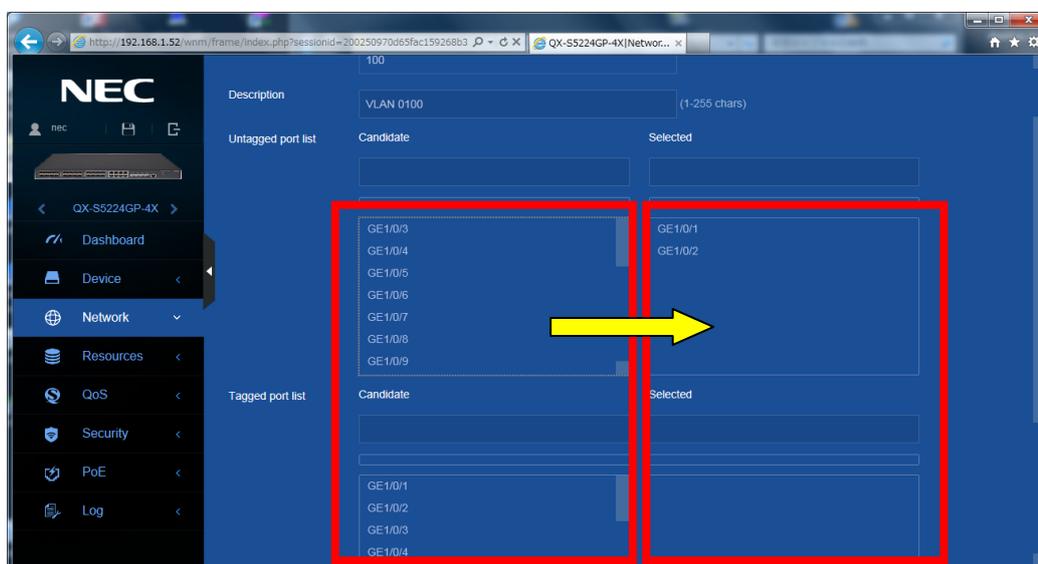
III. 作成する VLAN-ID を入力して[Apply]ボタンをクリックします。



#### 4.2.2 ポート VLAN の設定

I. 作成した VLAN にマウスカーソルを合わせると表示される“→”をクリックします。

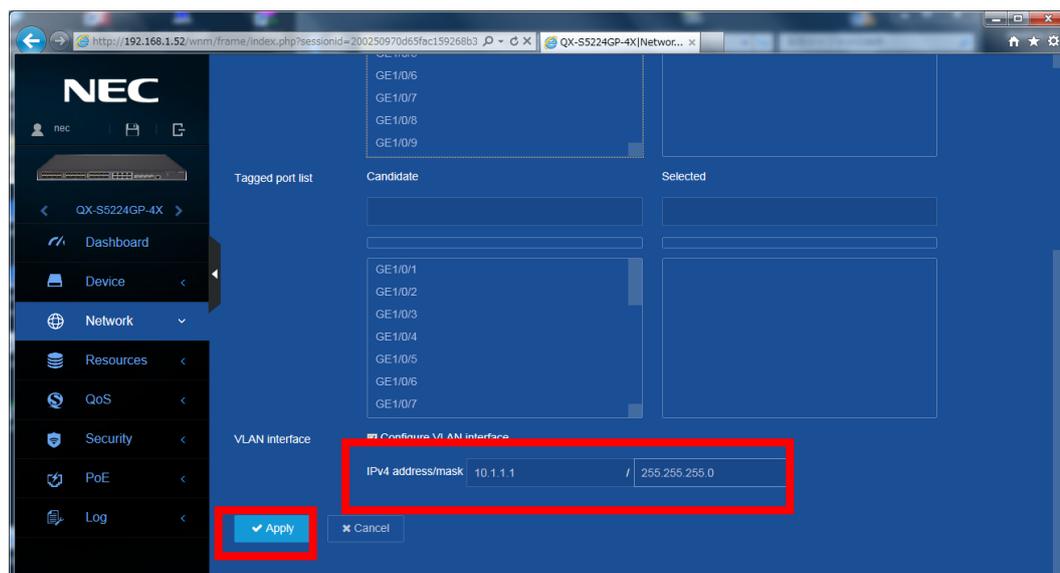
II. Untagged port list, Tagged port list の Candidate に表示されているポートをクリックして Selected に移動します。



III. [Apply]ボタンをクリックします。

### 4.2.3 VLAN インタフェースの作成

- I. 作成した VLAN にマウスカーソルを合わせると表示される “→” をクリックします。
- II. “IP address of the VLAN” に表示されているチェックボックスにチェックを入れます。
- III. 表示される “IP address/mask” に情報を入力して、[Apply] ボタンをクリックします。



#### メモ :

DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合は “Through DHCP” を選択して、[Apply] ボタンをクリックしてください。